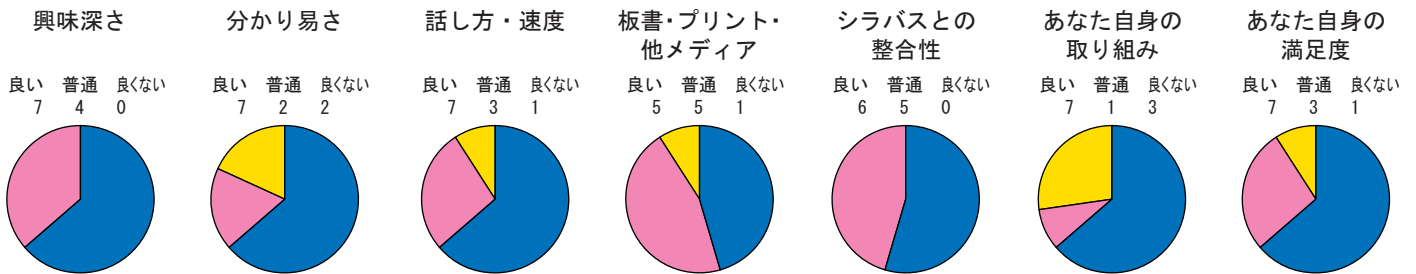


平成15年度2学期 生物学類授業評価

「生物物理学Ⅰ」

回答者数：11名 履修申請生物学類生数：30名 (回答率36%)



良かった点

- ・プリントもあって、わかりやすい説明でした。
- ・パワーポイントを使用して講義する先生の中には殆ど板書せず、ひたすらしゃべり続ける方がいらっしゃるのだが、先生はそんなことは無く、きちんと要点は板書してくれるので非常にわかりやすい講義内容だった。
- ・説明がわかりやすく、とても理解しやすかった。
- ・丁寧な説明が良かった。内容に即したプリントでわかり易かった。わかりやすく、理解しやすかった。

改善すべき点

- ・受講者数に比べ教室が狭い。
- ・生物物理とはいってもどこが物理なのかよく分からなかった。生物ばかりで、物理主専攻の学生が苦勞している様に感じた。

担当教官のコメント

- 「良かった点」をいろいろ挙げていただいて励みになります。今後も「良かった」と思われるような授業を心がけます。それから、皆さんにお願いがあります。もっともっと質問をしに来て下さい。理解が深まると同時に授業では伝えきれない何かを伝えられると思います。
- “教室が狭い”という点は、1学期にも指摘を受けました。これまでも学務に広い教室に変更してくれるよう要求してきましたが、今後も引き続き要求したいと思います。(1学期の項参照)
- “生物ばかりで物理主専攻の学生が苦勞している”という指摘に関してはそのとおりで、この授業を開講するにあたってどうすべきかかなり悩みました。1学期はいわゆる channel biophysics といわれる分野を中心に進めていますが、2学期はその応用でより生物に偏った話になってしまいました。バックグラウンドが全く異なる学生に等しく理解してもらうのはむずかしく、かと言って大学の専門科目の授業のレベルを下げるわけにもいかないので、物理主専攻の皆さんには苦勞をおかけして申し訳ありません。質問に来ていただければ理解するまで説明しますので、積極的に質問に来て下さい。